

■ 聖コロマン教会(ドイツ)「混色に留意して透明感のある彩色に挑戦」



聖コロマン教会、自然(pixabay)

<https://pixabay.com/photos/saint-coloman-church-architecture-3092260/>



By yarnho

※ノイシュヴァンシュタイン城近くの草原に凜と佇む聖コロマン教会。

伝説によるとアイルランドの聖人コロマンが聖地エルサレムへの巡礼の際に休息を取ったと言われる場所にこの教会が建てられました。

アルプスの峰と帽子型の教会の塔が美しい調和を生み出しています。

(ドイツ観光局“X”より引用)

「彩色手順」

- 1・山の輪郭を残すように空を塗り、雲の部分を素早くティッシュで押さえ霏がかつた感じを作ります。雪溪の形をぼかし気味に塗ります。
- 2・手前の教会は塗り残し、塀など白っぽい所に色が入らない様にします。
- 3・教会の奥の木々は軽いボカシ気味に塗ります。奥の小さな白い家は塗り残します。
- 4・教会の屋根や窓を塗り、陰を入れます。
- 5・教会の左右の木々を塗ります(濃い色は後ろの色を気にせず塗れます)葉の全部を塗りつぶさずスカイホールを意識して塗ります。
- 6・手前の草地を塗り細かなところを補完して完成。

